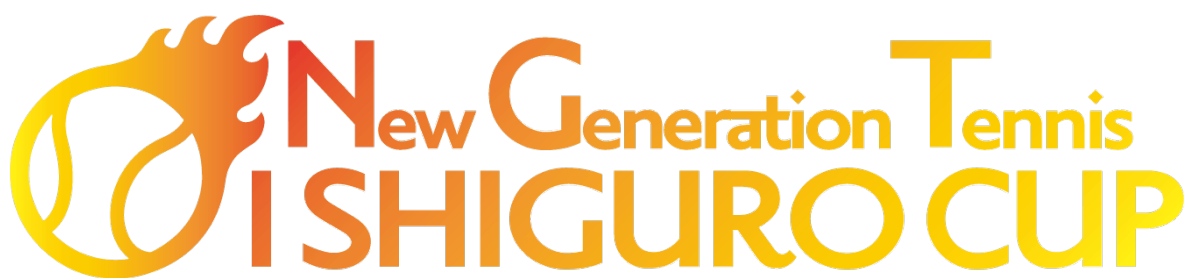


STAFF



New Generation Tennis
Junior Scout Caravan



Japan
Professional
Tennis
Association

2024.2.24、25

公益社団法人 日本プロテニス協会

第12回JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT グリーンボール大会 U10

第10回JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT U12・U14

第26回ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン全国大会

2023年度 全体タイムスケジュール(スタッフ用) 2024年2月21日→25日

2月21日 (水)	2月22日 (木)	2月23日 (金)	2月24日 (土)	2月25日 (日)
	【会場】 穴生ドーム U10 三萩野庭球場 U12 桃園庭球場 U14	【会場】 穴生ドーム：U10 三萩野庭球場：U12 桃園庭球場：U14&練習会	【会場】 穴生ドーム：決勝、三位決定戦 スカウトキャラバン	【会場】 穴生ドーム
7:00	7:00	7:00	7:00	7:00
8:00	8:00 開場	8:00 開場	8:00 開場	8:00 開場 参加者受け入れ開始
9:00	9:00 試合開始	9:00 試合開始	9:00 穴生：試合開始	8:50 高学年整列
10:00	10:00	10:00 桃園練習会開始 U14 10:00～11:30	10:00 展示ブース設営 (公認企業様) スカウトキャラバンスタッフ集合 スカウトキャラバン スタッフミーティング	10:00 低学年、高学年別 ANA粗品交換開始14:00まで
11:00 開場	11:00	11:00	11:00 スカウトキャラバン入場対応	11:00
12:00	12:00	12:00	12:00	12:00 体力審査 終了 吹奏楽部演奏
13:00	12:00 昼食 お弁当配布	12:00 昼食 お弁当配布 U12 12:30～14:00	13:00 トーナメント表彰式 スカウトキャラバン受付開始	12:00 昼食 杉山副会長 トークショー
13:00 練習コート解放 U12、14：桃園 U10：穴生ドーム	13:00	13:00	14:00 スカウトキャラバン開会式	13:00 プロプレーヤーによる エキシビジョンマッチ
14:00 ガット張り機設営 (ゴーセン様)【桃園】 他スタッフ 穴生ドームにて参加賞準備	14:00 各会場ANAの粗品交換対応	14:00 穴生：スカウトキャラバンの 参加賞準備	14:00 チアリーディング演技	14:00 レッスン (参加者全員) メーカーブース 14:00まで
15:00 三萩野・桃園の参加賞 運搬 のぼり設置	15:00	15:00 U10：14:30～16:00 試合終了後三萩野、桃園は撤収し てのぼりを穴生ドームへ試合終了	15:00 高学年：プロ推薦 低学年：講義	15:00 表彰式 終了後選手解散
16:00	16:00	16:00 穴生学舎 講義準備 スカウトキャラバン観 覧席 座席設営	16:00 高学年：講義 低学年：プロ推薦	16:00 表彰者インタビュー撮影
17:00	17:00 穴生でスタッフミーティング	17:00 ゴーセン様 マシン移動	17:00 講義会場片付け	16:00 特別審査員解散
18:00	18:00	18:00 穴生スタッフミーティング	18:00 講義会場片付け プロ推薦選考ミーティング 体力審査設営	17:00 撤収作業 完全撤収
19:00 終了予定	19:00 完全撤収	19:00 完全撤収	19:00 完全撤収	18:00

NO	区分	役職	氏名	フリガナ	21日(水)		22日(木)			23日(金)			24日(土)			25日(日)							
					運営	宿泊	運営	お弁当	受取場所	宿泊	運営	お弁当	受取場所	宿泊	午前	お弁当	午後	宿泊	運営	お弁当	反省会	宿泊	
1	スタッフ	副会長	渡邊 功	ワタナベ イサオ		1			1	穴	1		1	穴	1		1		1		1	1	1
2	スタッフ	副会長	杉山 愛	スギヤマ アイ																		1	
4	スタッフ	理事長	藤沼 敏則	フジヌマ トシノリ		1			1				1		1		1		1		1	1	1
5	スタッフ	副理事長	横田 克則	ヨコタ カツノリ											1		1		1		1		
6	スタッフ	会員	小野 修七郎	オノ シュウシチロウ		1			1	穴	1		1	穴	1		1		1		1	1	1
7	スタッフ	全国大会委員長	荒井 英樹	アライ ヒデキ	1	1	1	1	穴	1	1	1	桃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8	スタッフ	育成普及委員長	井上 丈士	イノウエ タケシ	1	1	1	1	穴	1	1	1	穴	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9	スタッフ	全国大会副委員長	石津 吏	イシヅ ツカサ	1	1	1	1	桃	1	1	1	桃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10	スタッフ	育成普及副委員長	蔵野 毅	クラノ タケシ											1	1	1	1	1	1	1	1	
11	スタッフ	育成普及副委員長	松尾 茂生	マツオ シゲオ											1	1	1	1	1	1	1	1	1
12	スタッフ	育成強化事業部副部長	平沢 潤	ヒラサワ ジュン	1	1	1	1	三	1	1	1	三	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
13	スタッフ	育成強化事業部副部長	茶園 鉄也	チャエン テツヤ											1	1	1	1	1	1	1	1	
14	スタッフ	育成強化事業部副部長	田丸 尚稔	タマル ナオトシ											1	1	1	1	1	1	1	1	
15	スタッフ	プレイヤー委員会委員長	有本 尚紀	アリモト ナオキ											1	1	1	1	1	1	1	1	
16	スタッフ	全国大会委員	岡部 幸人	オカベ ユキヒト	1	1	1	1	穴	1	1	1	穴	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
17	スタッフ	全国大会委員	吉田 真幸	ヨシダ マサユキ	1	1	1	1	桃	1	1	1	桃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
18	プロ	プロプレイヤー	本村 剛一	モトムラ ゴウイチ													1	1	1	1	1	1	
19	プロ	プロプレイヤー	吉田 友佳	ヨシダ ユカ													1	1	1	1	1	1	
20	プロ	プロプレイヤー	新井 麻葵	アライ マキ													1	1	1	1	1	1	
21	プロ	プロプレイヤー	中野 佑美	ナカノ ユミ											1	1	1	1	1	1	1	1	
22	スタッフ	常務理事	冨塚 拓彦	トミツカ ヒロヒコ	1	1	1	1	三	1	1	1	三	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
23	スタッフ	常務理事	安川 裕也	ヤスカワ ヒロヤ											1	1	1	1	1	1	1	1	
24	スタッフ	理事	境 敬行	サカイ タカユキ											1	1	1	1	1	1	1	1	1
25	スタッフ	理事	渋谷 一義	シブヤ カズヨシ											1	1	1	1	1	1	1	1	
26	スタッフ	理事	佐竹 君仁	サタケ キミヒト						1	1	1	桃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
27	スタッフ	育成普及委員	稲垣 正幸	イナガキ マサユキ											1	1	1	1	1	1	1	1	
28	スタッフ	育成普及委員	源河 朝哉	ゲンカ アサヤ											1	1	1				1	1	
29	スタッフ	育成普及委員	村雲 重夫	ムラクモ シゲオ	1	1	1	1	三	1	1	1	三										
30	スタッフ	育成普及委員	森山 純年	モリヤマ スミトシ							1	1	桃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
31	スタッフ	育成普及委員	伊丹 小百合	イタミ サユリ											1	1	1	1	1	1	1	1	
32	スタッフ	会員	喜久里 敏	キクザト サトシ			1	1	桃		1	1	桃										
33	スタッフ	会員	有田 響	アリタ ヒビキ											1	1	1				1	1	
34	スタッフ	会員	濱田 大夢	ハマダ ヒロム											1	1	1				1	1	
35	スタッフ	会員	田村 知大	タムラ チヒロ	1	1	1	1	穴	1	1	1	桃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
36	スタッフ	会員(ボランティア)	白河 英憲	シラカワ ヒデノリ													1	1	1	1	1	1	
37	スタッフ	会員(ボランティア)	関井 祥平	セキイ ショウヘイ													1	1	1	1	1	1	
38	スタッフ	スタッフ	佐藤 和歌葉	サトウ ワカバ											1	1	1	1	1	1	1	1	
39	スタッフ	スタッフ	源河 晶子	ゲンカ マサコ													1	1			1	1	
40	トレーナー	トレーナー1	江藤 鈴如央	エトウ レイナ				1	三			1	三										
41	トレーナー	トレーナー2	亀山 聖美	カメヤマ キヨミ				1	桃			1	桃				1					1	
42	トレーナー	トレーナー3	杉 龍世惟	スギ リュウセイ				1	穴			1	穴										

JR九州のスタッフは赤いジャケットを着用しています。お弁当配布、バス対応は基本的にJR九州が対応ですが、フォローをお願いします。

JR担当者 平野

タイム	穴生		役員	山東会長
	トーナメント 3決・決勝	スカウトキャラバン		
	井上,石津 女子連6名		渡辺副会長 藤沼理事長、横田副理事長	
7:30				
	7:45 トーナメントスタッフ移動			
8:00	開場			
:30	決勝対応：井上,石津 ボール拾い：学生 トロフィー目録賞品 準備：石津 賞状準備：森			
9:00		9:15 スカウトキャラバンスタッフ 穴生へ移動 点呼：松尾,吉田 ウエア資料配布		
:30		表彰式打ち合わせ：荒井、申アウンサー	ホテルから 穴生ドームへ移動	
10:00		スカウトキャラバンスタッフミーティング 終わり次第受付準備	3決・決勝戦 観覧	
		10:30プロ穴生へ移動		ANA245便 羽田発9:00 福岡空港着11:00 折尾タクシー手配
:30		プロ推薦用ボールセッティング：吉田,伊丹 キャスター9台の内、1台はグリーンボール	ご来賓対応	
11:00		講義会場確認：平沢、竹内	石黒様 公認企業 各メーカー	
:30		スタッフ昼食 お弁当受取配布：JR+お弁当業者 関係各所へ配布：山時 お弁当ゴミは14:30まで		
12:00		プロ推薦：茶園P、有本P、本村P、吉田P、新井P、 中野P、荒井、境、松尾 昼食取りながらミーティング	昼食	
:30	チアリーディング 到着予定	受付責任者：岡部 受付12:00~13:45 受付はあいうえお順 名前聞いて、IDカードを渡し て、参加賞バッグ、インゼリー配布 GAORAの座席ローピングされてる箇所は試合終了後 に撤収		
13:00	トーナメント表彰式 司会：申アウンサー		トーナメント表彰式 前方に整列	12:50~15:00 穴生ドームに滞在 トーナメント表彰式
:30	ネット2面撤去 指示：境 バナー交換：稲垣			スカウトキャラバン開会式
14:00	チアリーディングリ ハーサル	参加者整列係 高：松尾、伊丹、森山 低：蔵野、佐竹、源河 他スタッフも整列フォロー		
:30		14:00開会式 集合写真スタッフも入る 集合写真後、一度解散	スカウトキャラバン 開会式 前方に整列 集合写真撮影	
		14:30 チアリーディング演技		
	終了後、低学年は移動 誘導：冨塚・山時 講義のプロジェクト対応：竹内 残りスタッフでネット張り			

タイム	穴生		役員	山東会長
	低学年	高学年		
15:00	講義 穴生学舎 14:50~15:40まで 司会:申アナウンサー 講師:田丸 IMG古川氏	プロ推薦枠選考会 14:50~15:40 全体進行:境 フォロー:松尾		15:00 支援者の車で移動
:30				
16:00	プロ推薦枠選考会 15:50~16:50 全体進行:境 フォロー:松尾	講義 穴生学舎 15:50~16:40まで 誘導:山時,学生2名 司会:申アナウンサー 講師:田丸 IMG古川氏		
:30	チアリーディング控 え音楽室片付け :山時			
17:00	クラウンパレス行きのバス出発時間: 乗車予定数:			
:30	プロ推薦選考ミーティング 終了後、プロはホテル へ移動	体力審査の設営 ミーティング バックパネルを下に降ろ しておく		
18:00				
:30	スタッフはレンタカーとスタッフの車でアルクインへ移動			
19:00		完全撤収		

タイム	穴生		役員	
			渡辺副会長、 藤沼理事長、横田副理事長	杉山副会長
7:00	クラウンパレスからのバス出発時間： 乗車予定数：			
:30	7:45 スタッフ穴生へ移動			NH241
8:00	穴生ドーム開場 受付対応：事務局、学生	8:15プロ穴生へ移動	ホテルから 穴生ドームへ移動	羽田発 7:25 福岡着 9:30
:30	到着次第2階に荷物を置いて8:50までに1階に 整列するようアナウンス 整列次第アップ	会場内準備：各種目責任者の指示		
9:00	高学年体力審査開始		体力審査 観覧	
:30				タクシー移動 約1時間
10:00	低学年アップ開始	採点表の 入力：井上、山時		参加者へご紹介
:30	低学年体力審査開始	メーカーブース・ ANA粗品対応 搭乗証明書を持っ てきた人に粗品交 換 14:00まで対 応：事務局		トークショー打ち 合わせ 昼食
11:00				
:30				
12:00	吹奏楽&トークショーのセッティング			
	吹奏楽部演奏	トークショーの前に子ども たちに下に降りてきても OKの声かけ	プロ、スタッフ昼食	
:30	杉山副会長トークショー		プロとエキシビジョンの打 ち合わせ：平沢	トークショー 進行：申さん
	ネット張り			
13:00	エキシビジョンマッチ進行：平沢			エキシビジョンマッ チの間は平沢さんと トーク
:30				
14:00	クリニック 進行：境 クリニック前に、高・低 それぞれ集合写真 高学年 13:30~14:15 低学年 14:15~15:00	表彰準備：石津、平沢、岡部、冨塚 採点最終チェック：荒井、井上		クリニック開始前に 高学年と集合写真 全体コートを回る 続けて低学年
:30		のぼり撤収作業指示出し：松尾 撤収：学生		
15:00	表彰式 参加者を開会式と同様に整列させる 担当：境 司会：申アナウンサー		表彰式 前方に整列	
:30	審査表の配布、ゼッケン回収、撤収作業、全体ゴミ拾い			表彰式前方に整列 最後に一言ご挨拶
	穴生学舎の講義室、音楽室の片付け：岡部、他スタッフ			
16:00	プロ解散16:00発 福岡行きジャンボタクシー：杉山夫妻、有本P、吉田P、新井P			タクシー移動
:30	スタッフ全体で			約1時間
	佐川発送、ゴミ回収			
17:00	役員 アルクイン反省会			

24日（土）アルクイン→穴生

時間	運転	乗車予定
7：45発 トーナメント担当	井上	荒井、藤沼
	石津	GOSEN犬嶋さん
	冨塚R1	平沢、竹内、山時、森
	田村R2	吉田、松尾、岡部
9：15発	冨塚R1	境、稲垣、渋谷、佐竹、安川、田丸
	田村	蔵野、関井
	森山	白河、伊丹、佐藤
10：30発 プロ	冨塚R1	横田、茶園P、有本P

24日（土） 穴生→アルクイン

終了後 プロ	冨塚R1	茶園P、有本P、本村P、横田、田丸
	中野	吉田P、新井P
スタッフ設営終了後	石津	吉田、山時、竹内
	冨塚R1	平沢、境、稲垣、渋谷、佐竹、安川
	田村R2	白河、関井
	森山	岡部、伊丹、佐藤
	有田	松尾、蔵野
	井上	藤沼、荒井、森

25日（日） アルクイン→穴生

7：50発 全スタッフ	冨塚R1	境、渋谷、吉田、安川、佐竹
	石津	松尾、平沢、関井
	森山	岡部、白河、伊丹
	井上	藤沼、荒井、森
	田村R2	山時、竹内、佐藤
	有田	蔵野、稲垣
8：15発 プロ	冨塚R1	茶園P、有本P、本村P、横田、田丸
	中野	吉田P、新井P

※この日帰るスタッフはチェックインを済ませて荷物を持って移動

25日（日） 穴生→黒崎駅 帰るスタッフ

16：00発 プロ	ジャンボタクシー	杉山、有本P、本村P、吉田P、新井P
	中野	茶園P
帰るスタッフ 穴生→黒崎駅	冨塚R1	渋谷、吉田、安川、佐竹、田丸
	田村R2	蔵野、稲垣
	森山	岡部、白河
	有田	伊丹、佐藤

※あくまでも予定になりますので、変更があればお互いに声を掛け合って、
乗り忘れの無いようお願いします。

2023年度NGT全国大会 役割分担表

役割	責任者	内容・補足
総責任者	荒井	全て
トーナメント	井上・石津	ドローミーティングや参加者の過去1年間実績を調べてシード案作成等。
設営	岡部	大会本部、公認企業の配置等。 のぼり設営箇所の指示バナー掲示確認。
賞品チェック	石津	トーナメント、NGT表彰式用に準備 目録、トロフィーも
賞状	森	賞状作成
スカウトキャラバン	荒井・境・松尾	体力審査・クリニック等全体を把握。
式典	荒井	トーナメント・NGT両方の開会式、表彰式、閉会式担当。
式典時整列	境	NGT開会式、閉会式時、スタッフへ子供の整列指示
24日受付対応	岡部	NGT受付時 スタッフ配置、対応指示出し、参加賞チェック
24日プロ推薦	茶圓・有本	プロ推薦者の選出
ボール	森山・伊丹	プロ推薦、クリニックでのボール配置担当、セットボール販売
25日受付	竹内・山時	
25日体力審査	荒井・境・松尾	体力審査の総まとめ
体力備品チェック	松尾・蔵野	ボール空気、その他確認
25日体力審査数値	井上	
演技時のコート設営	境	開会式前のネット撤収、設営指示出し
スタッフの移動点呼	松尾・蔵野	会場、ホテル間の移動等とりまとめ
25日エキシビジョン	平沢	進行、トーク
25日午後クリニック	境	進行
お弁当、コーヒー	竹内・山時	ご来賓・スタッフのお弁当管理 参加者のお弁当はJRが対応
メーカー抽選会	竹内・森	メーカーブースフォロー 指示出し

スカウトキャラバン参加賞バッグ 155個

種類	部数
全国大会プログラム	1冊
GAORA放送案内	1枚
IMGアカデミー チラシとメールアドレス登録	各1枚
写真販売の案内	1枚
北九州観光案内	1種類
カイロ	2個
参加賞Tシャツ	サイズ確認
ゼッケン	名簿で確認
全国大会記念Tシャツ	購入者のみ
読売新聞 KODOMO新聞	1部

北九州市の手提げ袋の上部にゼッケン番号とTシャツサイズを書いてあるラベルシールを貼り付け。
それに合わせて、Tシャツ、ゼッケンをセットする。

一般受付要領

受付	10：00頃から2階エントランス準備
受付時間	12：00～13：45
統括	岡部
スタッフ	

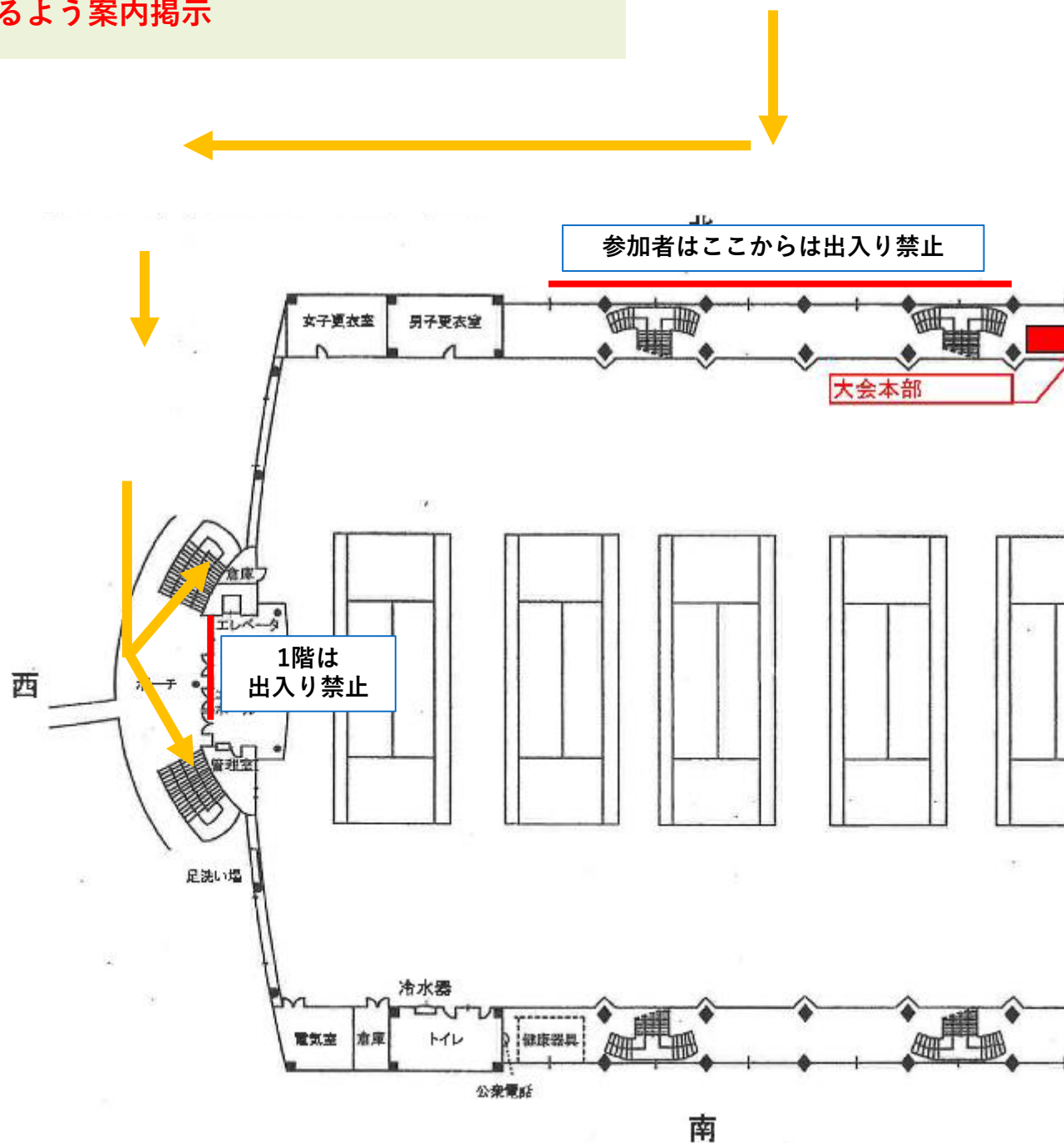
受付配布物

品名		
1	参加賞バッグ	参加賞Tシャツ、名札、ゼッケン番号とTシャツサイズを確認して、バッグに1セットにして、あいうえお順に並べておく
2	インゼリー	参加者に1個ずつ配布

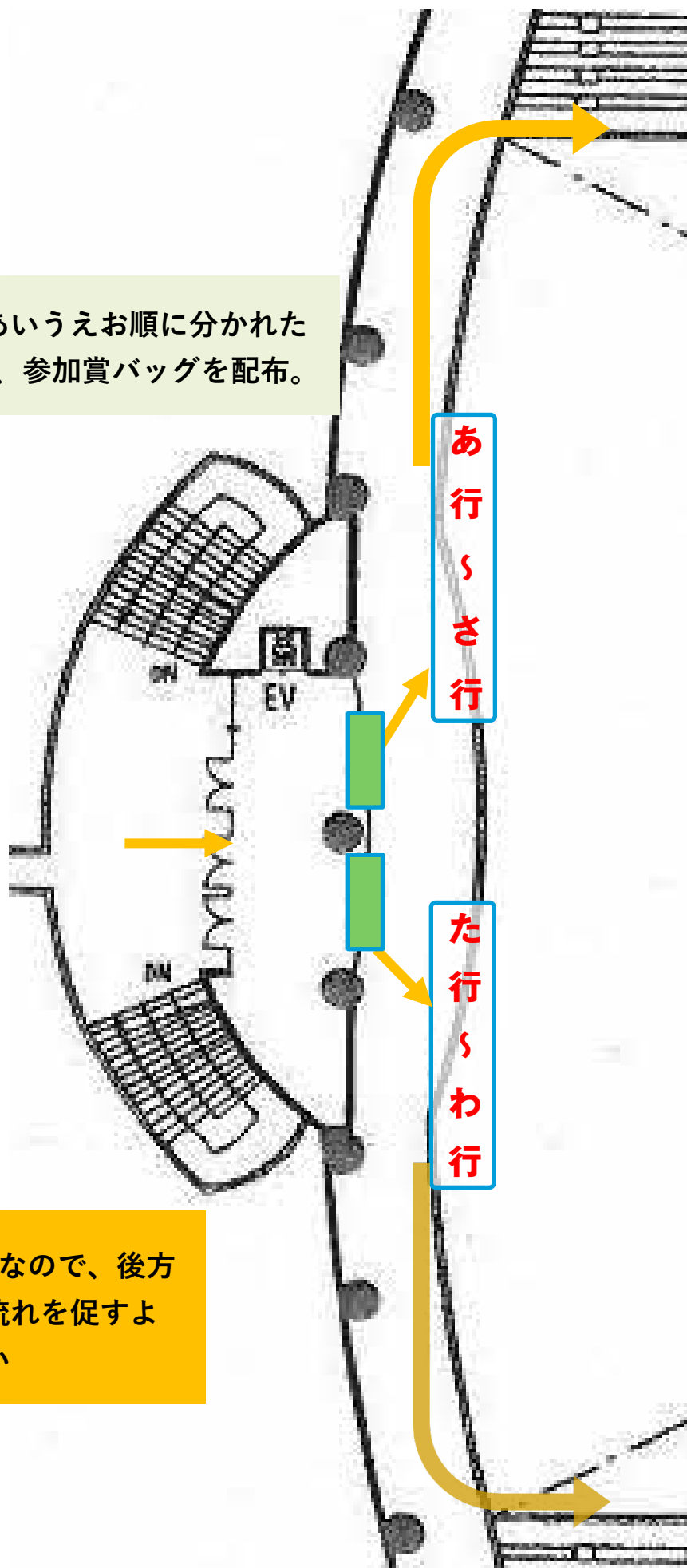
受付手順

1	2階入口にて、名前あいうえお順に分かれた受付で、名前を聞いて、IDカードを配布
2	中央にインゼリーを配置してあるので、1個ずつ取らせて、参加賞バッグの並んでいる方へ誘導。あいうえお順に配置。左が名前あ行からさ行、右にた行以降に分かれてる。
3	観覧席は自由 バッグの中のTシャツとゼッケンを着用して、13：50までに1階に整列するようアナウンス
4	Tシャツのサイズ交換は若干は対応可能。 ゼッケンが大きい場合は、輪ゴムを受付に置いておくので、それを利用してもらう。 ラケット忘れには、協会のラケット貸し出し有り。

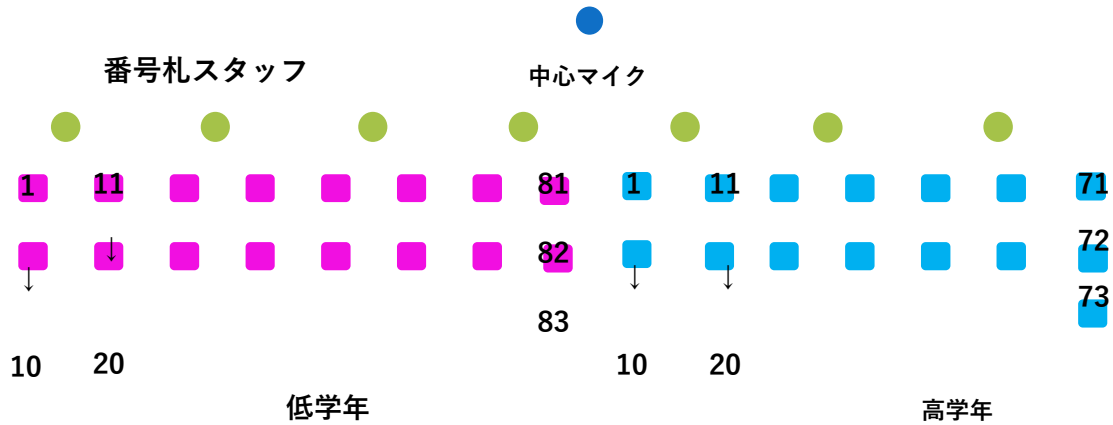
階段で2階エントランスへの矢印掲示。
階段上がる前に、靴の砂をよく落としてから
入るよう案内掲示



2階入口にて、名前のあいうえお順に分かれた受付で、名前を聞いて、参加賞バッグを配布。



階段に溜まると危険なので、後方の様子を見ながら、流れを促すよう気を付けてください



縦に10人ずつ

選手同士 縦横1メートル以上間隔を開けるよう気を付ける

開会式後、このまま後方に向きを変えて、集合写真撮影
その後、チアリーディング観覧

2023年度スカウトキャラバン 参加者人数一覧

		男子	女子	合計
低学年	年長	3	4	83
	小1	9	5	
	小2	13	11	
	小3	21	17	
	小計	46	37	

高学年	4年	17	9	73
	5年	9	11	
	6年	13	14	
	小計	39	34	
				156

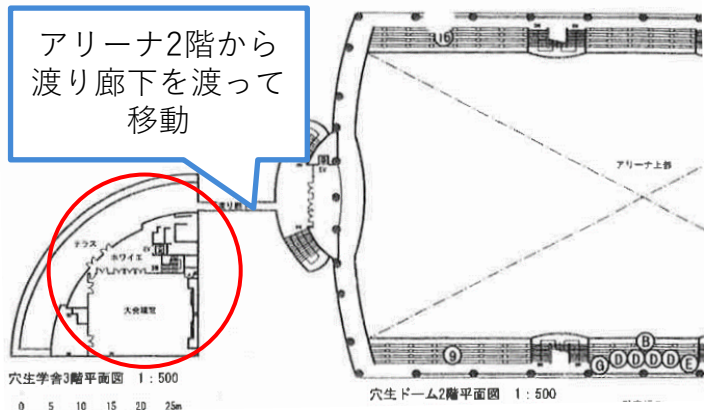
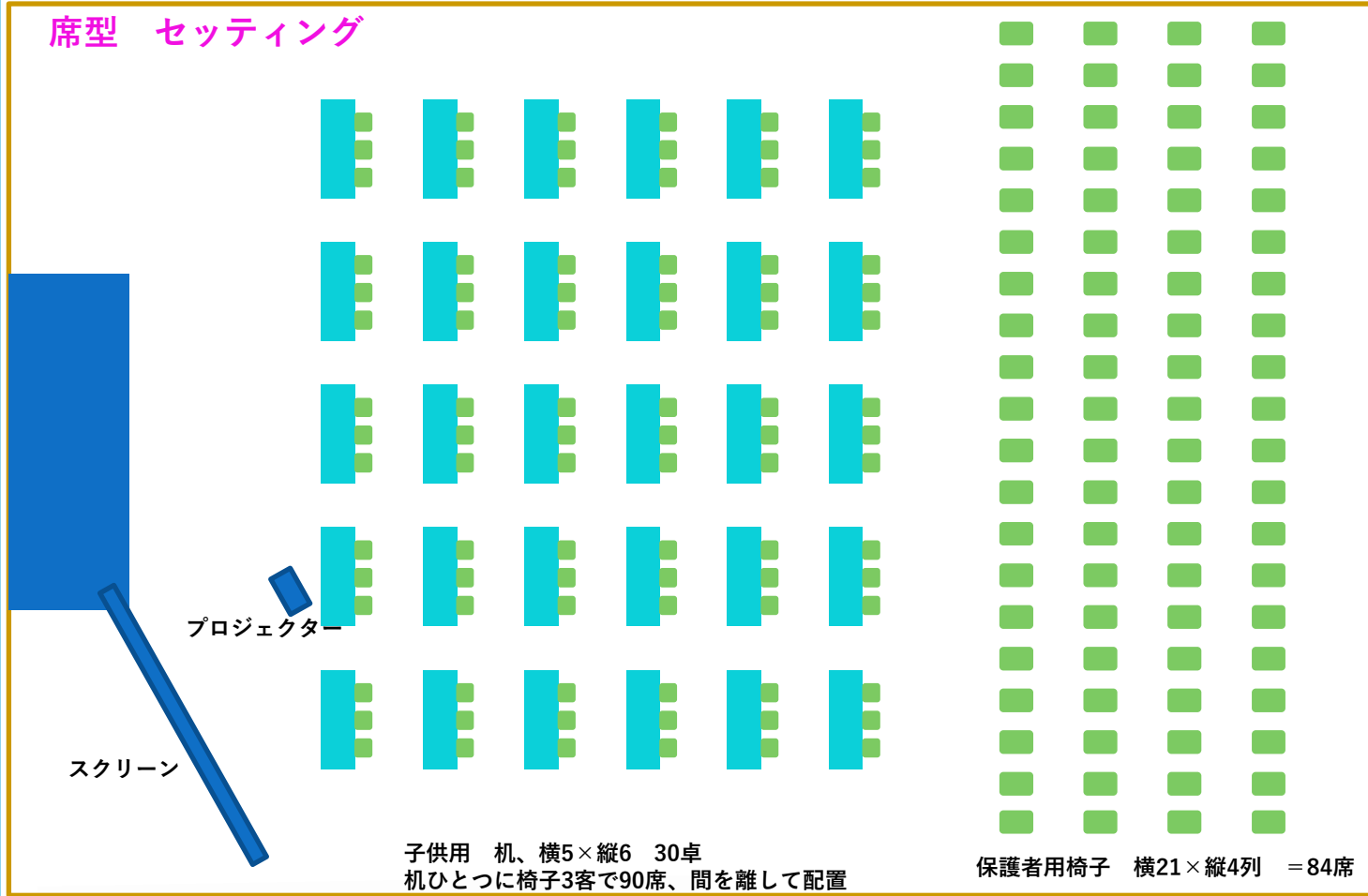
2024年2月24日（土） 14：00～14：45

会場：穴生ドーム 司会：申 アナウンサー

シーン	担当	
		プロ、スタッフ整列、選手誘導待機
開会の言葉	司会	ただいまより、ニュージェネレーションテニス石黒杯 第26回JPTAニュージェネレーションテニス ジュニアスカウトキャラバン全国大会開会式を行います。
会長挨拶		まずは公益社団法人日本プロテニス協会会長山東昭子（サントウアキコ）大会会長よりご挨拶です。
理事長挨拶		続きまして公益社団法人日本プロテニス協会 理事長 藤沼 敏則（フジヌマ トシノリ）大会委員長よりご挨拶です。
大会実行委員長紹介		日本プロテニス協会 常務理事 育成・普及事業部長 荒井英樹（アライヒデキ）大会実行委員長、常務理事 育成普及委員長 井上丈士（イノウエタケシ）大会実行副委員長、育成普及事業部副部長 平沢潤（ヒラサワジュン）大会実行副委員長
ご来賓挨拶		セイコーウォッチ株式会社 代表取締役 副社長執行役員 石黒実様（渡辺副会長からご紹介の流れで一言いただく）
ご来賓紹介		公益財団法人北九州市観光コンベンション協会 コンベンション誘致課長 稗田照之（ヒエダテルユキ）様 ヨネックス株式会社 竹森正道（タケモリマサミチ）様 株式会社ダンロップスポーツマーケティング 米山 豊弘（ヨネヤマトヨヒロ）様 ANA株式会社 木村 建一（キムラケンイチ）様 株式会社ゴーセン 東京支店長 犬嶋央（イヌジマヒサシ）様 IMGアカデミージャパン代表 古川雅士（フルカワマサシ）様
プロプレイヤー紹介		育成・普及事業部副部長 茶圓 鉄也（チャエンテツヤ）特別審査委員長 より一言いただきます。続いて、今回参加しているプロの方からも一言ずついただきます。順番 有本尚紀（アリモトナオキ）、本村剛一（モトムラゴウイチ）、吉田友佳（ヨシダユカ）、新井麻葵（アライマキ）中野佑美（ナカノユミ）
写真撮影		それでは全員で集合写真を撮影いたしますので スタッフの指示に従ってこちらにお並びください。 撮影後一度解散
チアリーディング演技		チアリーディングはバナーに向かって演技
		以上で開会式を終わります。低学年は先に講義を行いますので、2階から穴生（アノオ）学舎へ移動をお願いします。高学年の選手はプロ推薦 枠選考会を開始いたしますのでラケットを持ってきてください。

穴生学舎（2/24 14：50～ 講義会場）

席型 セッティング



目安の配置なので、現場で再確認
高学年は75迄減らしてOK



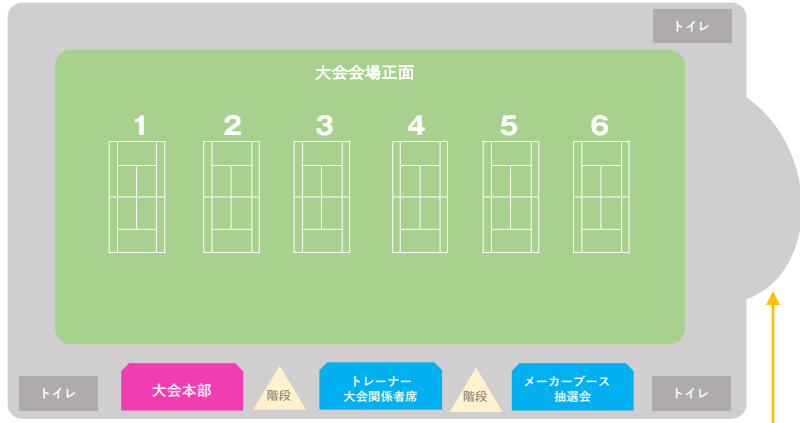
2階観覧席から渡り廊下を通過して穴生学舎3階の大会議室へ移動

司会：申アナウンサー

	時間	内容
低学年	14：50～15：25	理事待遇 田丸 尚稔
	15：30～15：40	IMGアカデミージャパン代表 古川雅士様
		移動
高学年	15：50～16：25	理事待遇 田丸 尚稔
	16：30～16：40	IMGアカデミージャパン代表 古川雅士様

3面をプロ3名でチェックし
3面から4,5人選出

高学年、低学年
それぞれ8から10名を選出



進行：境

高学年 14：50～15：40

選手73名

コートNO	プロ	スタッフ	フォロー	選手ゼッケンNO	内訳	人数	
1	茶園P 新井P 本村P	白河	濱田	安川	1 - 13	男子4年	13
2		蔵野	源河	岡部	14 - 26	男子4,5年	13
3		森山	松尾	稲垣	27 - 39	男子6年	13
4	有本P 中野P 吉田P	有田	関井	佐竹	40 - 50	女子4,5年	11
5		田村	佐藤	吉田	51 - 61	女子5,6年	11
6		伊丹	源河（晶）	渋谷	62 - 73	女子5年6年	12

低学年 15：50～16：50

選手83名

コートNO	プロ	スタッフ	フォロー	選手ゼッケンNO	内訳	人数	
1	有本P 中野P 吉田P	白河	濱田	安川	1-12	男子 年長、1年 グリーンボール	12
2		蔵野	源河	岡部	47 - 55	女子 年長、1年 グリーンボール	9
3		森山	松尾	稲垣	13 - 28	男子2,3年	17
4	茶園P 新井P 本村P	有田	関井	佐竹	29-46	男子 3年	17
5		田村	佐藤	吉田	56-69	女子2年3年	14
6		伊丹	源河（晶）	渋谷	70-83	女子3年	14

低学年の年長と1年生はグリーンボールを使用する フォローはボールのケアと球拾い
手の空いてる学生は球拾い

選考基準

バランス やる気 態度（目、立ち姿、表情） 気持ちの起伏（落ち込み）

メニュー	
10分	①ストローク、手出し、ラケット出し4球交代 フォアバックストローク
10分	②ネットプレー 手出し、ラケット出し3球交代 フォアバックボレースマッシュ
10分	③サーブ 全体
高学年15分 低学年20分	④ラリー プロとスタッフがラリーしているところを審査 プロは2面もしくは3面を交代で入る

体力審査 25日（日）午前 配置

- ・保護者の声かけ、1階に降りてくることはNGとする
- ・テニスシューズの徹底、ランニングシューズへの履き替えはNGとする
- ・マスクは体力審査の自分の番の時とプロ推薦、レッスンの時のコートに入った時に外してOK
- ・待機の際には所定の待機の場所で立たせて、その場でのアップなどをOKとする。
- ・デモンストレーションは必ず、グループ全体を集めて、一同に対して行う。OKパターン、NGパターンを十分に見せてから計測に分かれる。

スタッフの心得

常に選手、保護者から見られていることを意識してください。

ポケットに手を入れる等、格好悪い行動はしないよう、お互いに注意してください。

Timeスケジュール

9:00～9:30	高学年	50m走、立ち幅跳び
9:35～10:00	高学年	ボール投げ、スパイダー
10:05～10:15	高学年	8の字ラン
10:00～	低学年	アップ 低学年の6名は高学年最終ランに入る
～10:35	低学年	8の字ラン
10:40～11:10	低学年	ボール投げ、スパイダー
11:05～11:50	低学年	50m走、立ち幅跳び

選手グループ 高学年 男子39名、女子34名 低学年 男子46名、女子37名 合計156名

グループNO	対象	ゼッケン番号	人数
A	高学年男子	1 ～ 39	39 名
B	高学年女子	40 ～ 73	34 名
D	低学年男子	1 ～ 46	46 名
E	低学年女子	47 ～ 83	37 名

選手グループが回る順番

	1	2	3	4	5
A	50M走	立幅跳び	スパイダー	ボール投げ	8の字ラン
B	立幅跳び	50M走	ボール投げ	スパイダー	
C	8の字ラン	スパイダー	ボール投げ	50M走	立幅跳び
D		ボール投げ	スパイダー	立幅跳び	50M走

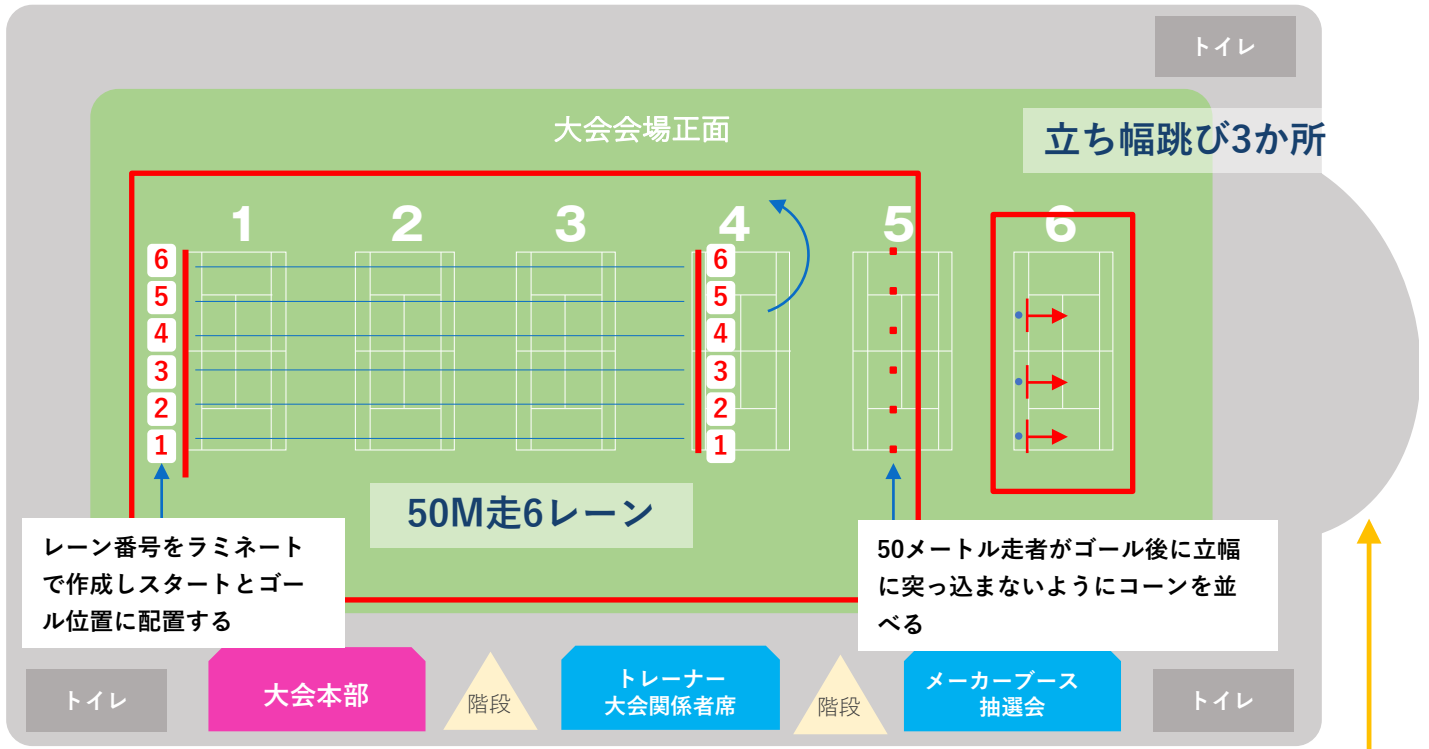
スタッフ用 選手が来る順番

高学年	1	2
50M走	A	B
スパイダー	A	B
立ち幅跳び	B	A
ボール投げ	B	A
8の字ラン		

低学年	1	2
8の字ラン	全員	
ボール投げ	D	C
50M走	C	D
スパイダー	C	D
立ち幅跳び	D	C

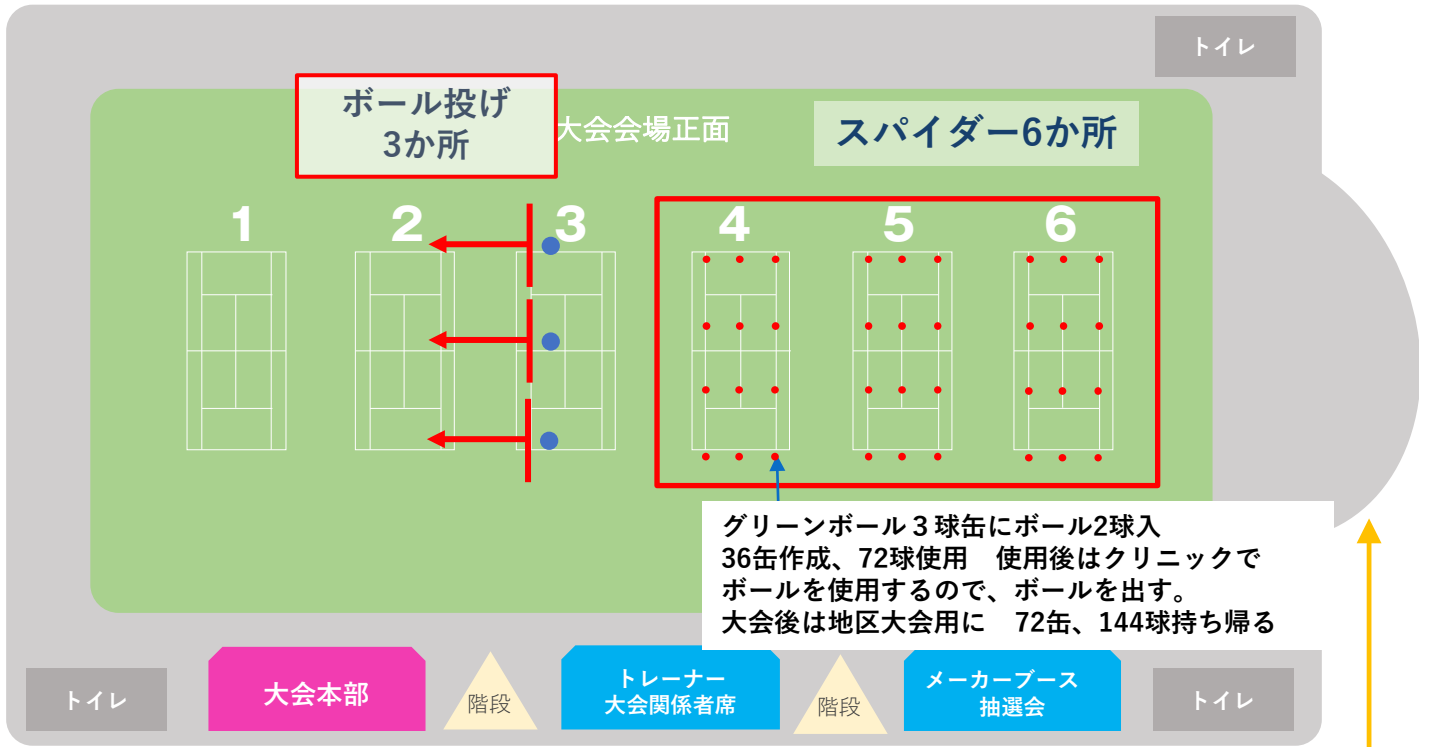
選手はこの順番に回ってくる

50M走 立ち幅跳び



	スター ター	判定	記録	計測	計測	計測	計測	計測	計測
50m走 責任者：稲垣	稲垣	井上	有本P 新井P	平沢 有田	佐竹 濱田	渋谷 佐藤	安川 田村	富塚 源河	森山 源河（晶）
	6レーンで測定 記録、スターター、フライング判定、選手1名を2人で計測								
立ち幅跳び 責任者：石津		1	2	3	4				
	記録	茶園P	吉田P	本村P	中野P				
	計測	岡部、吉田	松尾、境	白河、関井	蔵野、伊丹				
	4ヶ所で測定 プロが記録、2人1組で計測								

スパイダー ボール投げ

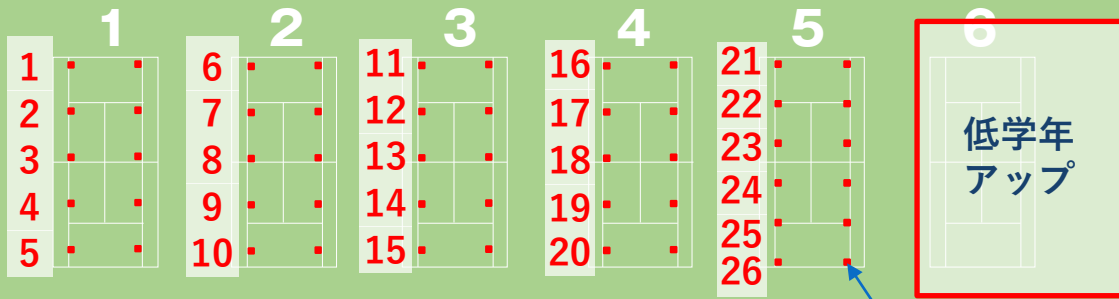


スパイダー 責任者：松尾	記録	茶園P		新井P		中野P	
	計測	石津 伊丹	境 佐藤	岡部 源河（晶）	蔵野 佐竹	渋谷 稲垣	森山 学生
6ヶ所で測定 記録は2か所の計測値を記録							
ボール投げ 責任者：吉田				1	2	3	
	記録	採点表に記載		有本P	吉田P	本村P	
	計測 1	投げる位置でメジャー押さえ 選手に投げさせて良いかどうか スタッフ全体を確認して、選手 に投げる合図を出すこと。また 線を踏んでいないのかも確 認する。		平沢	安川	富塚	
	計測 2	ボールが落ちた位置を確認		濱田	有田	田村	
	計測 3	ボールが落ちた 位置で計測		関井	源河	白河	
	ボール他 フォロー	選手にボール渡しと投げたボールの戻り 対応		学生	学生	学生	
	投げたボールを拾って、選手が投げる位 置に投げて戻す		学生	学生	学生		

8の字ラン

トイレ

大会会場正面



選手待機場所、各コートに入る順に控えさせる

コーン
シングルスライン

トイレ

大会本部

階段

トレーナー
大会関係者席

階段

メーカーブース
抽選会

トイレ

進行 : 荒井 タイムキーパーと次に入る子を呼び出し
 整列 : 富塚、学生 次に入る選手を各コート横に整列させる
 アップ : 境 低学年アップ

コート	1コート	2コート	3コート	4コート	5コート
	1 有田	6 森山	11 安川	16 田村	21 関井
	2 渋谷	7 濱田	12 稲垣	17 佐竹	22 吉田
記録係	3 有本P	8 吉田P	13 茶園P	18 本村P	23 新井P
	4 源河	9 伊丹	14 中野P	19 松尾	24 白河
	5 平沢	10 石津	15 蔵野	20 佐藤	25 源河（晶）
					26 岡部

記録係はそのコートの選手の回数を記録

グループNO	学年	ゼッケン番号	人数
1	高学年	1 ~ 26	26名
2	高学年	27 ~ 52	26名
3	高学年	53 ~ 73	21名
	低学年	1 ~ 5	5名
4	低学年	6 ~ 31	26名
5	低学年	32 ~ 57	26名
6	低学年	58 ~ 83	26名

5番コート

1. 立ち幅跳び 責任者：石津

①手順と方法

- 踏み切り線はベースラインとする。
- 両足を軽く開いて立たせ、つま先が踏み切り線の直後にくるようにする。
- 両足で踏み切り、できるだけ前方遠くへ着地する。
- 測定は踏み切り線から直角になるよう後足のかかと（ラインから最も近い着地点）までの距離を測る。
- 見本を見せた後、練習させずに計測する。
- 2回実施して各回の記録をテスト用紙に記入する

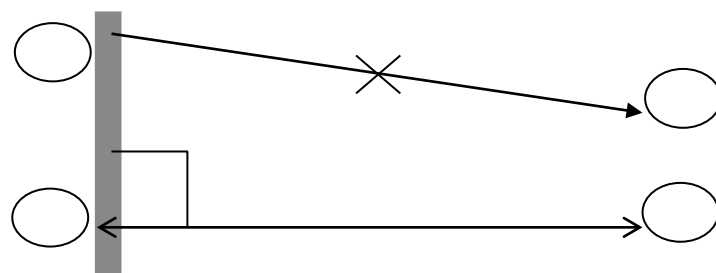
単位は1cm 端数は切り上げ 例：105.6cmの場合 106cm

②計測上の注意

- 踏み切る際に何度も大きく手を振って反動を利用しようとするが、その際に足が徐々に前へ移動し踏み切り線につま先が触れる（フットフォールト状態）場合があるので注意する。
- 着地時足は止まらせる（砂のコートでは正しく着地しても数センチ滑る事がある。その場合は明確に足跡が残るのでそこを着地点とする）
- 手が前方の地面に着いても可
- （ただし足は着地点から動いていない事）
- 後方に尻か手がついた場合、踏み切り線から尻もしくは手の最短記録を計測（失敗したと思い慌てて立つ選手がいるのでそのまま留まる事を説明する）

③配置

斜めに跳んでも、垂直に測ること



2. 50m 走 責任者：稲垣

①測定方法

スタートラインを設定する。（ゴールラインを走り抜けても安全なように配慮する）
スターターのホイッスルによってスタートする。

フライング判定した場合は、ホイッスルですぐに全員止めてやり直す。

フライングをした選手は1回目はOK、2回目はNG

②記録の取り方

選手1人に対し、2人で計測をする。値は2人の値を記入していく。

数値入力の際に平均値を記録とする。

計測の際、必ずゴールラインの横に立ち、**ゴールラインを身体の胸（手や足、頭を除く）を超えた時点で計測する。**（計測しやすい事と走者の邪魔にもならない為）

③実施上の注意

ストップウォッチの不具合がないか事前にテストしておく。

ストップウォッチの不具合による計測不能の場合等は、時間を少しおいてから再計測する。

ゴールライン・レーンが見えにくいので、カラーコーン等を設置する。

レーン幅は2mで作成。

2回実施して各回の記録をテスト用紙に記入する。

単位は1 / 100秒 **例：15.25秒**

3. スパイダー 責任者：松尾

① 手順と方法

シングルス各ライン上とセンターマーク上にボール缶を置く（下記の図を参照）

ボール缶はグリーンボールの3球入り缶にボールを2個入れてふたを閉めて、ふたを下にして立てる。

センターマークからスタートさせ、1つのボール缶を倒して、センターマークのボール缶を倒して、次のボール缶へ行く。

センターマークの缶はスタッフが立て直す。

1 順目は右回りで計測し、2 順目は左回りで計測する。

必ず手で倒すように指示する。もし足で蹴って倒してしまった場合は計測終了とする。

最後のボール缶を倒した瞬間を終了とする。

見本を見せた後、練習させずに計測する。

計測後、缶を立て直す作業は、選手に手伝わせてもOK

2 回実施して記録をテスト用紙に記入する **単位は1/100秒 例：20.56秒**

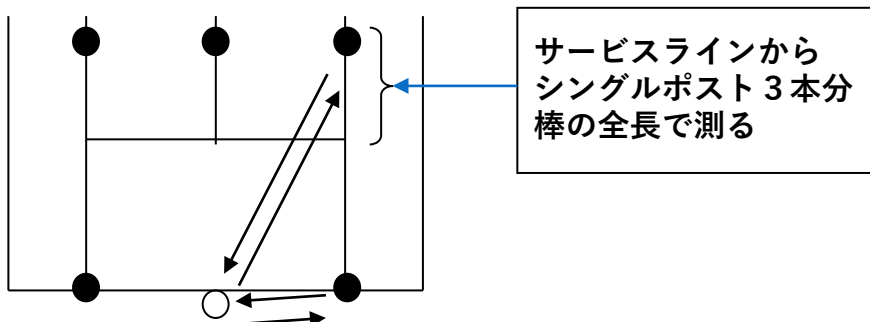
◆スターターは計測者が行う。

スターターの合図は、

①腕を上げ「よーい」

②腕を下げて(下げ切ったところで)「Go」

※スターターは選手の進行方向に立って視界に入る位置で行う。



4. ボール投げ 責任者：吉田

(低学年の部：ソフトボール1号、高学年の部：ハンドボール2号)

①手順と方法

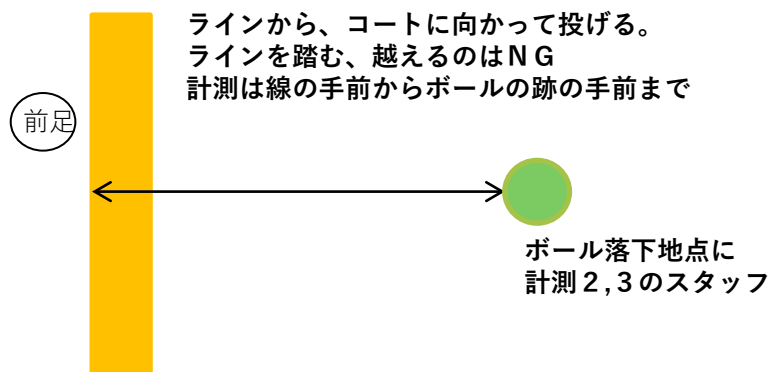
- ・肩より上から投げる。
- ・下手投げ、助走は禁止。
- ・**投球中、投球後に線を踏んだり、越した場合は記録無にする。**
- ・選手が連続で2回投球を行うのでやり直しは無し。
- ・2回とも線を踏んで記録無となった場合はそのままとする。
- ・踏み切り線の手前からボールの落下点までの距離を計測する。
- ・見本を見せてください。練習はありませんので良く肩を回してから行うようにしてください。
- ・2回実施して各回の記録をテスト用紙に記入する

記入単位はcm単位 1cm以下端数は切り上げ 例10m56.5cm→10m57cm

②配置

前側の足は固定、後ろ側の足は自由だが、線を越えないこと

計測1の担当者が選手に投げさせて良いかどうかスタッフ全体を確認して、選手に投げる合図を出すこと。また線を踏んでいないかどうかも確認する。



5. 8の字ラン 責任者：荒井

①手順と方法

ホイッスルによってスタートし、3分後に終了のホイッスルが鳴る。

シングルスライン上に、ベースラインと平行に2個ずつコーンを置く。

一方のシングルスラインからスタートさせ、2つのコーンを8の字になるように回る。

3分間計測し、何周するか計測する。コーンを回れば1と計測し、スタート時点に戻れば2となる。その後は同様に計測を続ける。図の★印（シングルスライン）まで回って1とする。★印との間で3分終了となった場合は回数に入れない。

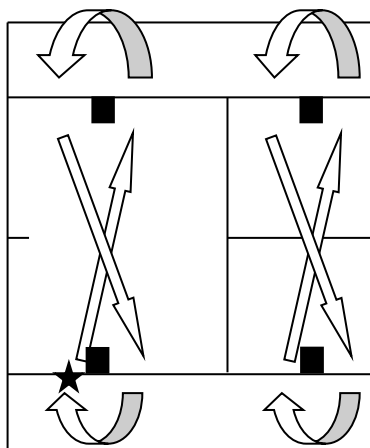
稀に途中から反対回りになる選手がいるので注意する。

見本を見せた後、練習させずに計測する。

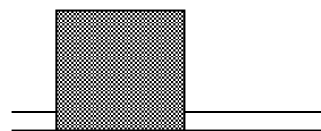
※選手同士が接触しないよう、コーンの間隔にご注意ください。

※コーンが倒れたら直してあげてください。

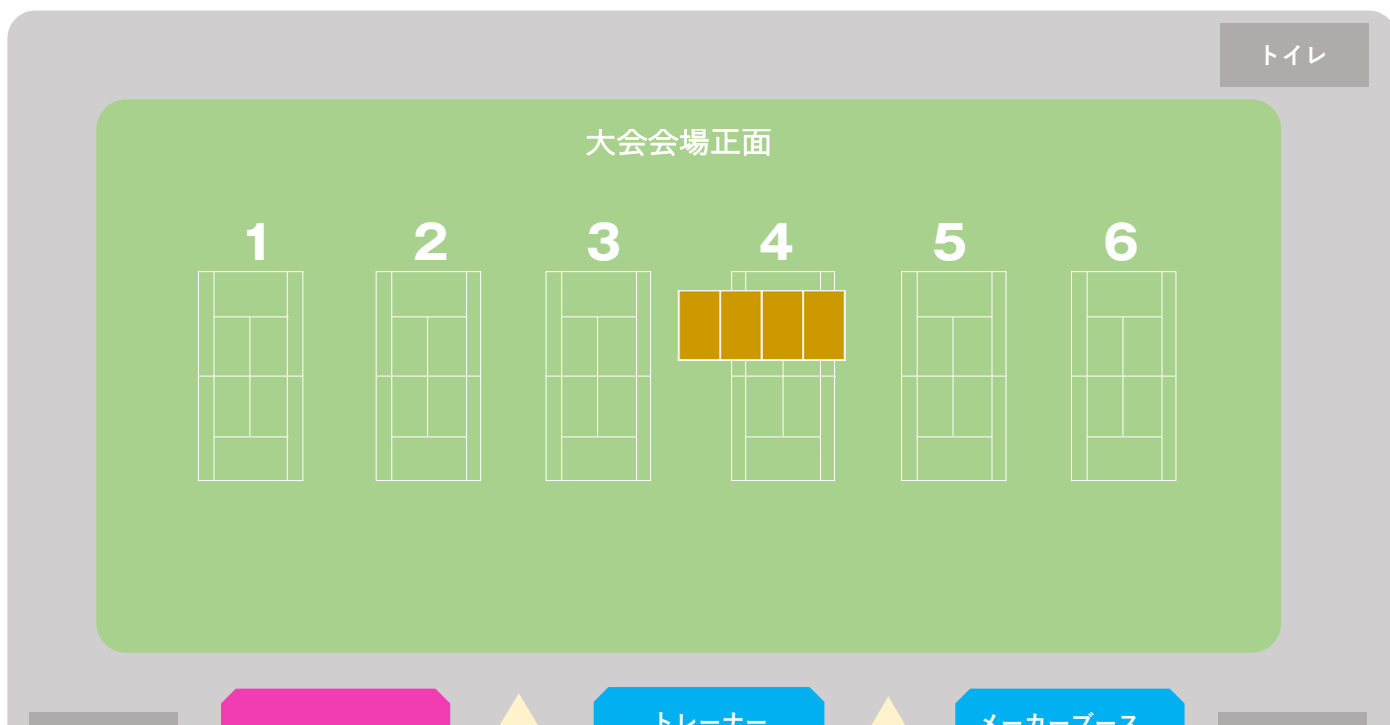
※選手への応援など声かけはNGです



コーンを置く位置
シングルスラインの内側
白線の外側に合わせて置く



吹奏楽部

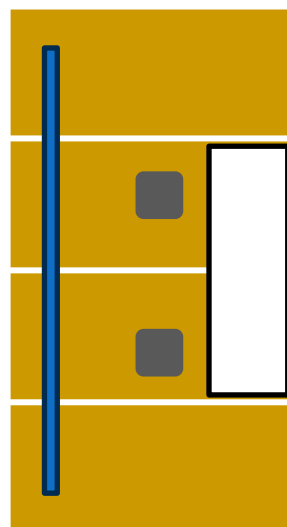


副会長トークショー



1番コート

- ・コンパネ4枚
- ・バックパネル（倒れないよう背面に重りを配置）
- ・机1本（表彰で使用するバナーを巻いてある机）
- ・椅子2客
- ・マイク2本



プロクリニック 25日（日） 配置

レッスン開始前に高学年、低学年で集合写真

進行：境

低学年、高学年でわかれて、45分ずつ行う



高学年		13:30～14:15					選手73名
コートNO	プロ	スタッフ		フォロー	選手ゼッケンNO	内訳	人数
1	中野P	森山	松尾	安川	1 - 13	男子4年	13
2	有本P	白河	濱田	岡部	14-26	男子5年6年	13
3	吉田P	蔵野	源河	稲垣	27-39	男子6年	13
4	新井P	田村	佐藤	佐竹	40-50	女子4年	11
5	茶園P	伊丹	源河（晶）	吉田	51-61	女子4年5年	11
6	本村P	有田	関井	渋谷	62-73	女子5年6年	12

低学年		14:15～15:00					選手83名
コートNO	プロ	スタッフ		フォロー	選手ゼッケンNO		人数
1	新井P	伊丹	源河（晶）	安川	1-12	男子 年長、1年 グリーンボール	12
2	茶園P	白河	濱田	岡部	47 - 55	女子 年長、1年 グリーンボール	9
3	本村P	森山	松尾	稲垣	13 - 28	男子2年3年	17
4	中野P	田村	佐藤	佐竹	29-46	男子 3年	17
5	有本P	蔵野	源河	吉田	56-69	女子2年3年	14
6	吉田P	有田	関井	渋谷	70-83	女子3年	14

メニュー

8分	ストレートラリー コーチ対選手 2箇所
8分	アプローチからボレー対ストローク コーチ対選手 2箇所
8分	4名でボレー合戦 コーチ2名対選手2名
10分	ダブルス形式、コーチが雁行陣 コーチ 2名対選手 2名

2024年2月25日（日） 15：00～15：30

会場：穴生ドーム 司会：申 アナウンサー

シーン	担当	
		表彰状、副賞・目録の確認、入賞者リスト準備（2枚）、審査表コピー
		プロ、スタッフ整列、選手整列
開会の言葉	司会	只今より、ニュージェネレーションテニス石黒杯 第26回 J P T A ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン全国大会 閉会式を行います。
理事長大会委員長挨拶		始めに理事長藤沼敏則（フジヌマトシノリ）大会委員長より総評をお願いします。
	司会	それでは優秀選手・最優秀選手の発表を致します。優秀選手には J P T A 育成プログラムへの参加資格と J P T A 公認企業・ヨネックス(株)からメーカーサポートが授与されます。また最優秀選手には J P T A 育成プログラム参加資格と育成強化合宿交通費のサポート及びメーカーサポート。さらに高学年の最優秀選手には、4月に開催される海外遠征派遣時の航空券のサポートが授与されます。また IMG アカデミーより1週間のレッスン Certificate も贈られます。発表は荒井英樹（アライヒデキ）大会実行委員長より行います。名前を呼ばれた選手は前に出てきてください
選手発表 賞状授与	全国大会 委員長 理事長	低学年 優秀選手（男女） 最優秀選手（男女） 高学年 優秀選手（男女） 最優秀選手（男女） それでは理事長 藤沼敏則（フジヌマトシノリ）大会委員長より賞状・目録・副賞を授与いたします。
特別審査員 あいさつ	司会	最後にプロプレーヤー特別推薦を発表します。 今大会特別審査員としてご協力いただきました各プロ選手の皆様に、何か光るものを感じた選手を推薦して頂くものです。 このプロ推薦には、JPTA 育成強化メンバーとしての登録資格が与えられます。発表は育成・普及事業部副部長 茶園鉄也（チャエンテツヤ）特別審査委員長より頂きますが、その前に、特別審査員のプロプレイヤーの皆様より一言ずつ頂きたいと思えます。
プロ推薦発表	審査委員長	【発表順】低学年の部、続いて高学年の部 低学年、高学年、1名ずつ代表者に賞状を渡す。それ以外の選手は後ほど一斉に
副会長挨拶		日本プロテニス協会副会長 杉山愛（スギヤマアイ）大会副会長に一言いただきます。
写真撮影		それでは最優秀選手、優秀選手は写真撮影を行いますので、バナーの下へお集まりください。
	司会	ゼッケンを回収する事を伝え、スタッフに集めてもらう。 皆さんには、審査表をお渡しいたしますので必ずお受取の上お帰り下さい。

最優秀選手 高学年

**New Generation Tennis
ISHIGURO CUP**
第26回
ニュージェネレーションテニス
ジュニアスカウトキャラバン全国大会

目録

最優秀選手 高学年の部

- ※ 海外遠征派遣 (4月予定/1回分)
(航空券30万円まで、その他に自費あり)
- ※ JPTA 育成プログラム参加資格
(育成強化合宿交通費、年3回まで6万円までサポート)
- ※ メーカーサポート

3月上旬にご案内をお送りします。

最優秀選手 低学年

**New Generation Tennis
ISHIGURO CUP**
第26回
ニュージェネレーションテニス
ジュニアスカウトキャラバン全国大会

目録

最優秀選手 低学年の部

- ※ JPTA 育成プログラム参加資格
(育成強化合宿交通費、年3回まで6万円までサポート)
- ※ メーカーサポート

3月上旬にご案内をお送りします。

優秀選手

**New Generation Tennis
ISHIGURO CUP**
第26回
ニュージェネレーションテニス
ジュニアスカウトキャラバン全国大会

目録

優秀選手

- ※ JPTA 育成プログラム参加資格
- ※ メーカーサポート

3月上旬にご案内をお送りします。



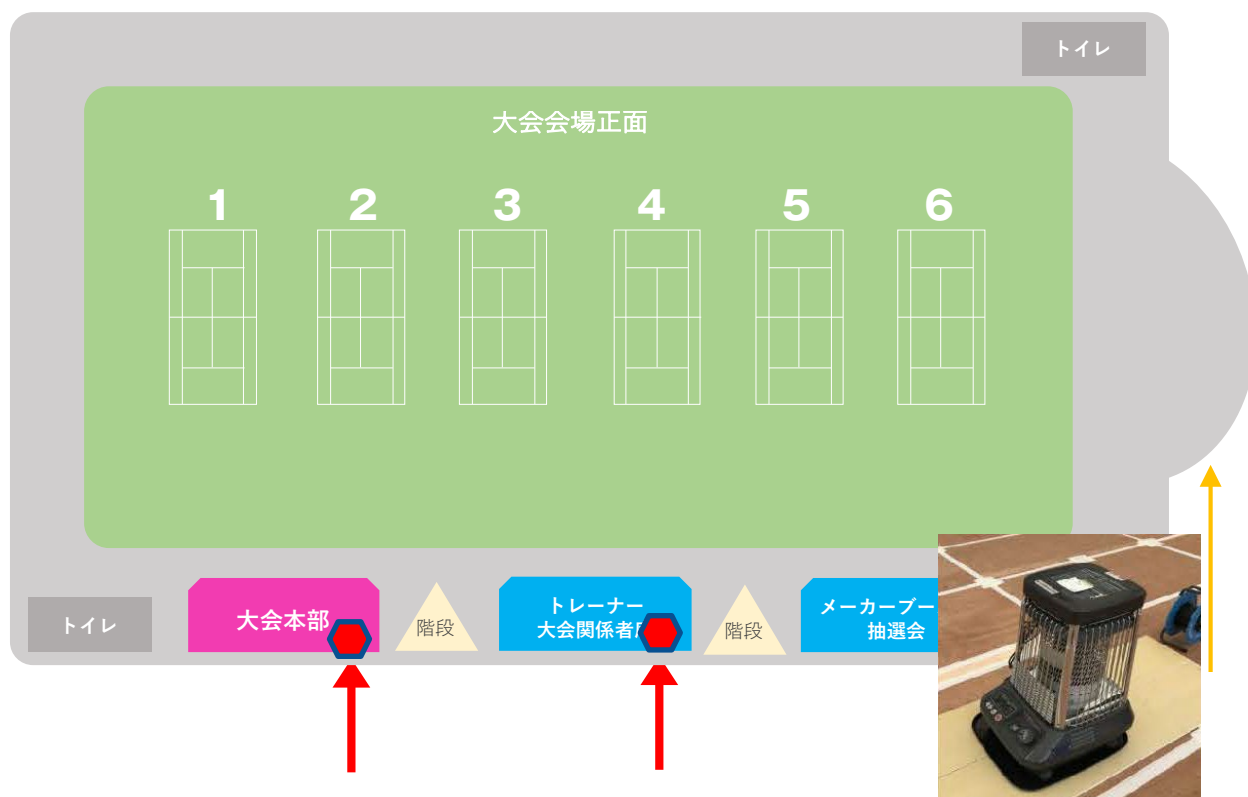
DTC2281
ダンロップ



BAG2322Rスモークブルー
ヨネックス

ストーブ設置注意事項

大会中に穴生ドーム内、ストーブを2か所設置しています。
火災予防にご協力をお願いします。



1階 2か所に耐火ボードを敷いてその上にブルーヒーターを設置。消火器をストーブ横に配置。
ストーブガードで囲む。スタッフ内で、ストーブの使用を周知し、火災予防に努める。

使用後、穴生ドーム撤収時にコンセントを抜く事